

中学部 作業学習・自立活動パワーアップ週間

中学部では、「挨拶・返事・報告」「身だしなみを整える」「自分の役割を覚えて、根気強く取り組む」ことに焦点を当て、生徒一人一人の意識を高めることを目的として、作業学習・自立活動パワーアップ週間を設けています。これらの積み重ねが将来の「生活する力」「働くために必要な力」（「返事・挨拶・報告」「身辺処理」「作業意欲」「主体性」「持続性」「コミュニケーション」など）につながっていくと考えています。

昨年度まで「前期（後期）」としていましたが、今年度から「Ⅰ期（Ⅱ期）作業学習・自立活動パワーアップ週間」と名称を変え、Ⅰ期は5月24日（月）～28日（金）の5日間行いました。また、生徒に意識してほしい項目を「中学部作業学習五箇条」として提示し、毎日の全体会で復唱しながら、意識して取り組めるようにしています。

初めて作業学習を体験する1年生や新しい作業班で活動する2・3年生は、毎日繰り返す中で手順を覚え、自分で考えたり、周りの様子を見て作業したりするようになりました。昨年度と同じ作業学習班であっても、さらなるレベルアップを目指す2・3年生は、効率アップするための工夫や目標数を考えたり、後輩に教えたりしました。特に3年生は、班長や副班長として活動することで、中学部のリーダーとして行動することが意識づけられました。

9月22日（水）から始まるⅡ期は、働く上での休日の過ごし方を考える機会を設けるために、休日を挟んだ日程で7日間を予定しています。前回よりもさらに生徒がパワーアップ（成長）した姿がみられるよう職員一同、一丸となって取り組んでいきます。



職員進路研修会（8／2）



由利本荘市障がい者基幹相談支援センター相談支援専門員の和田光子氏を講師にお招きし、本校職員を対象とした研修会を職業訓練センターで行いました。

和田氏からは、これまでの経験を踏まえ事例を交えながら、障害福祉全般について、分かりやすくお話していただきました。本校職員にとっては、自分の担当する児童生徒の現在や将来の生活を思い浮かべながら、今後の支援や保護者への情報提供に生かせる、大変貴重な機会となりました。

◆基幹相談支援センターについて◆

- ☆障害のある方やその家族の方の最初の相談窓口
- ☆地域の障害福祉に関する相談支援の中核的な役割
- ☆障害の種別や手帳の有無にかかわらず、相談者に必要な支援等の情報提供や助言を行う
- ☆地域内で関係機関と連携し、その架け橋となる

◆講話の概要◆

- 基幹相談支援センターの業務について
- 在学中及び卒業後に利用できる障害福祉サービスについて
- 障害者基礎年金について
- 支援事例（在校生、卒業生）

「在学中及び卒業後に利用できる障害福祉サービス」や「障害者基礎年金」について詳しく知りたい場合は、お配りしました「進路の手引き」を御覧ください！



令和3年度 同窓会総会・成人を祝う会

7月22日（木）、本荘グランドホテルにて「令和3年度同窓会総会・成人を祝う会」が行われました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむなく中止となりましたが、今年度は感染防止対策を講じた上で実施することができました。当日は、同窓生34名、保護者8名、旧職員3名、現職員27名の計72名が参加しました。

同総会総会では、進行の矢野虹太さん（H24卒）、議長の豊島雄介さん（H29卒）をはじめ、役員が中心となって会を進行してくれました。役員交代の年であるため、新役員紹介も行われました。

成人を祝う会では、昨年度成人を迎えた平成30年度卒業のみなさんと、今年度成人を迎えた令和元年度卒業のみなさんのお祝いを合同で行いました。今回は感染症対策として会食はありませんでしたが、当日参加できなかった新成人のみなさんからのビデオレターを視聴しました。それぞれの場所で元気に頑張っている様子や大人っぽくなった姿に、会場では自然と笑顔があふれました。

